

Take
free

ご自由に
お持ちください。

地域とともに地域医療を守る

With

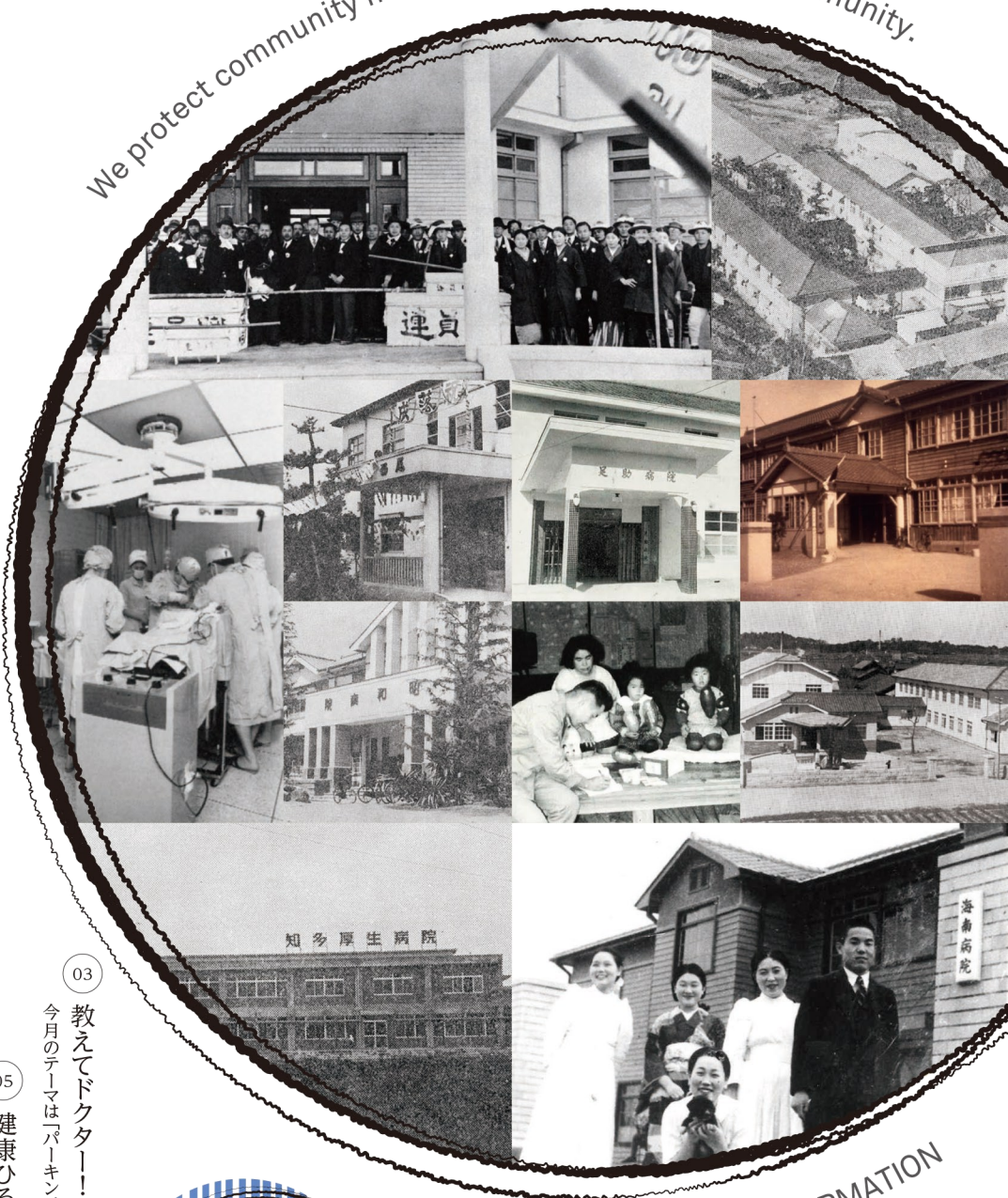
厚生連情報

We protect community medicine together with the community.

JA愛知厚生連 創立75周年記念特集

01

特集



JA AICHI KOUSEIREN INFORMATION

2023

9

No.486

03

教えてドクター！

今月のテーマは「パーキンソン病」

05

健康ひろば！

9月1日は防災の日
大規模災害時の医療のながれ

06

Our Professionals

江南厚生病院 栄養管理室

07

ホットトピックス

ホットな取り組みをご紹介します

09

公開講座

10

事業実績・今月の巡回健診予定表

11

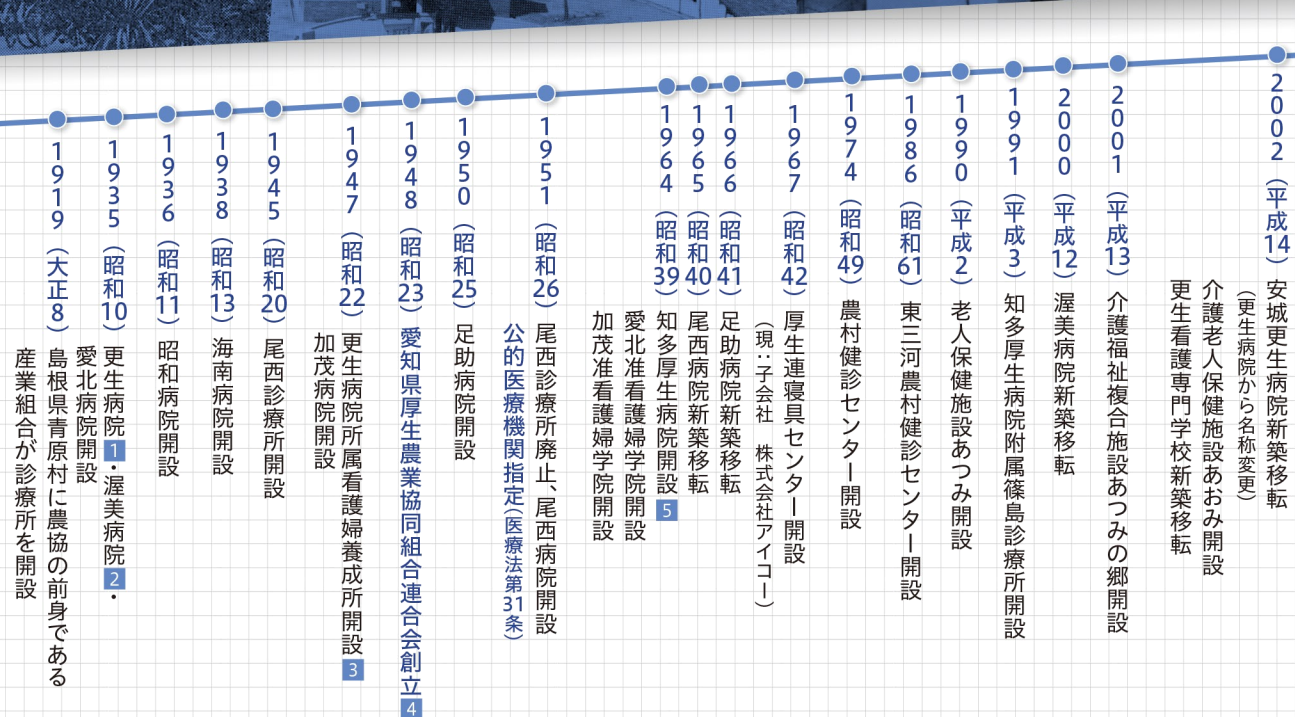
スペシャルムービーのご紹介

創立75周年記念特集

2023年8月に創立75周年を迎えました。戦前戦後の激動の時代、激変する医療環境のなか医療機能を大きく発展させた時代など、いくつもの時代の変化を乗り越えてきた75年の歩みをご紹介します。

沿革

Our History



私たちのルーツ

Roots

私たちのルーツは、大正時代の島根県の農村にあります。

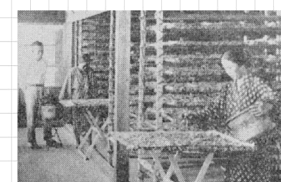
医療が行き届いていなかった地域の農家の人たちが、みんなで助け合いお金をだして、小さな診療所を開設したのが、そもそもの始まりです。

こうした考えは、全国に広がり、農家を中心とした医療組合に発展していきました。

愛知県内でも、人口の少ない郡部や山間部に、病院や診療所が開設され、JA愛知厚生連に受け継がれました。

地域に根ざし、地域の声に応えていながら現在は県内に8つの病院をかまえ、人口の

少ない地域の基本診療を確保する病院から、高度な医療に携わり市民病院的な役割を担う病院まで網羅しています。時代が変わっても、「医療を受ける側の立場に立ち、本当に必要な医療を提供していく」という使命は、普遍的なものとして受け継がれています。



昭和10～30年 1935～1955

医療組合により、病院・診療所が各地で開設。各病院は地域住民の要望に応え、医療体制を整えた。診療以外にも農民の健康相談・巡回診療・予防注射・講演会の実施など多方面に足跡を残した。

昭和初期に相次いで誕生した医療利用組合運動は情勢の緊迫とともに統合・再編成・移管を繰り返す。昭和23年8月、戦後にできた「農業協同組合法」により県下JAの出資のもと「農民の健康管理と文化的な生活の向上」を使命とした愛知県厚生農業協同組合連合会を創立した。



▲昭和10年設立した渥美病院。同時に周辺に3つの診療所を開設し、患者送迎サービスも行われた



▲戦時中は多くの医療従事者が召集され、閉鎖寸前の病院もあった

2 昭和23年、名古屋通り沿いの農林会館(5階が厚生連本部)



▲昭和10年設立した更生病院(現:安城更生病院)。当時珍しかったレントゲン装置を導入



▲昭和26年頃、農村で蔓延した寄生虫の駆除に向けて検査を行う様子



▲昭和22年、看護婦を養成するため更生病院所属看護婦養成所開設

昭和31～50年 1956～1975

昭和33年、昭和病院は火災により焼失、昭和34年に発生した伊勢湾台風では各病院に被害が及ぶなど災害が相次いだ。各災害では、地域医療を守るため近隣の厚生連病院へ患者を搬送したり、支援を受けながら医療を続けた。

各病院では、建物の狭隘・老朽化と近代医療へ対応するため新築移転や増築工事を行った。また総合病院や救急指定病院の指定など近代的病院への胎動と地域の基幹病院としての歩みをはじめた。



▲昭和32年、厚生科学研究所が発足。組合員に届ける配置薬が製造された



▲昭和33年、昭和病院全焼。入院患者・手術中患者が職員必死の救助により愛北病院へ避難誘導された



▲昭和34年に発生した伊勢湾台風で壊滅的な被害を受けた海南病院。船で巡回診療に向かった



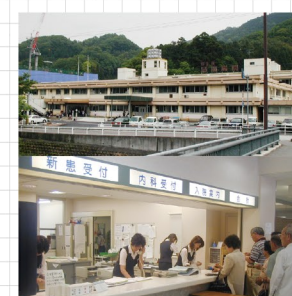
▲昭和39年初の巡回健診に向かう検診車「すこやか号」



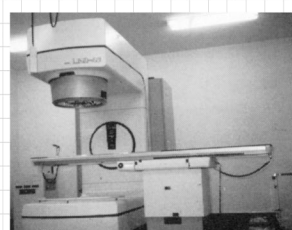
▲昭和39年「知多半島に公的で総合的な病院を」という地域住民の強い要望から知多厚生病院が開設

昭和51～平成7年 1976～1995

医療の機能分化や医療提供体制の整備が進められるなか、各病院は増改築や各種指定の取得、高度医療機器の導入など医療の質向上・診療体制を充実させた。在宅介護や高齢者福祉施設の開設など介護サービスの基盤も整備。これらの対応に伴い職員数も増加し、職員宿舍の増設や院内保育所の開設など労働環境も整備した。



▲昭和50年頃、増改築を重ねる足助病院



▲昭和62年頃の海南病院の放射線治療装置(ライナック)



▲平成5年更生訪問看護ステーション開設

平成8～27年 1996～2015

進歩する医療技術や地域からの医療の質・療養環境向上への期待に応えるため、全8病院の大型施設整備を実施。全国に先駆けて電子カルテを導入し、救急・がん・災害・周産期・へき地などに対応した各種指定を取得するなど機能強化を実施、地域の特性に合わせた医療を提供するための診療体制を整えた。



▲平成19年、豊田厚生病院の全面新築移転に向けて電子カルテトレーニングを行う職員



▲平成19年、江南厚生病院新築工事の様子(愛北病院・昭和病院の統合)



▲平成26年、尾西病院を名称変更し稲沢厚生病院へ

平成28～令和5年 2016～2023

地域の医療需要に合わせて高度な医療を提供するため、大規模病院は大型施設整備や内視鏡手術支援ロボットなどの高度医療機器の導入などを実施した。中規模病院は医療資源を最大限に活用しながらへき地医療の継続など地域に寄り添う医療を提供している。新型コロナウイルス感染症拡大に対しては、地域の感染症医療の中心的な役割を担い、通常診療に加えさまざまな対策に取り組んでいる。



▲平成30年、準無医地区解消のため田原市赤羽根診療所を開設(田原市指定管理事業)

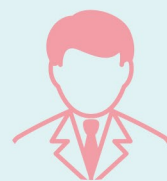


▲令和4年、大規模4病院全てに内視鏡手術支援ロボットダヴィンチを導入完了



▲コロナ対応では外来・入院ともに患者を受け入れ、ワクチン接種等さまざまな対策に取り組んでいる

\ 教えて/ドクター！



少し気になっているけど、なかなか普段聞けない…。
そんな、からだや病気の“気になる” ありませんか？
毎月その道のエキスパートが
あなたの“気になる”を解決していきます。

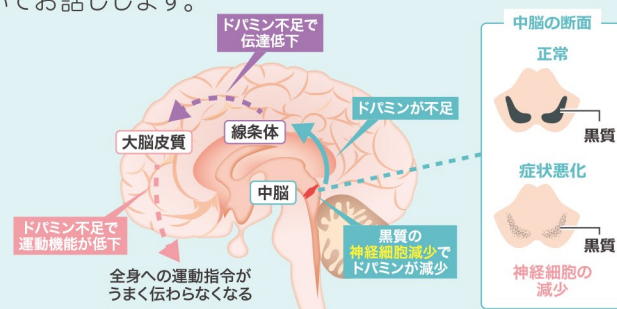
今月のテーマは



パーキンソン病

パーキンソン病とは、からだの動きなどに関係する運動症状がゆっくりと現れる脳神経の病気です。現在、日本には約20万人の患者さんがいるといわれており、脳の変性疾患のなかでは頻度の高い病気です。50～60歳代で発症することが多く、高齢になるほど発症率は増加します。残念ながら、パーキンソン病を根本から治す治療法は現在ありませんが、症状の進行を抑える治療は数多くあります。今回は、パーキンソン病についてお話しします。

数字でみるパーキンソン病



今月の ドクタープロフィール PROFILE

かたおか ともふみ
片岡 智史 医師

海南病院 脳神経内科

担当診療時間
予約のみ
毎週木曜 午後

脳神経内科部長
脳神経内科は、パーキンソン病のような神経変性疾患などの長く付き合っていく必要のある疾患が多い分野です。患者さんに寄り添った丁寧な診療を心がけています。



最近、手がふるえる…
身体が動かしにくい…
年のせい？それとも…
気になる症状がある方は
まずはお気軽に
ご相談ください！

もっと知ってほしい。 病気の話



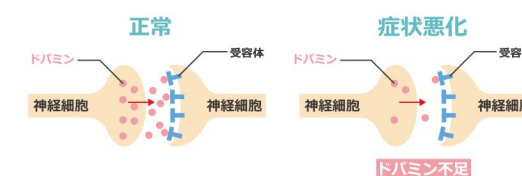
皆さんに安心して治療に専念していただけるよう、
毎月ドクターが、病気について詳しく
説明していきます。

50～60歳代の
発症が多い

パーキンソン病のお話

パーキンソン病とは？

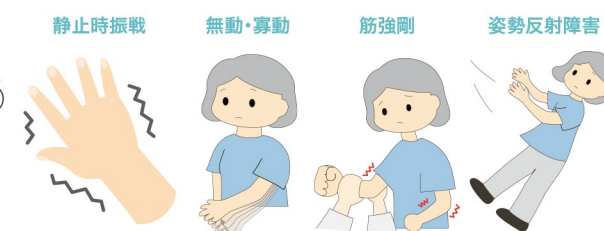
パーキンソン病は、中脳の黒質という部分の神経細胞が減り、作られるドパミン(神経伝達物質の一つ)が不足することで、脳からの信号が伝わりにくくなり発症します。神経変性疾患の一つで「錐体外路徴候」と呼ばれる運動症状がゆっくりと出現してくる病気です。



症状はゆっくりと進行します。

代表的な症状

- じっとしているときに手や足などが震えるようになる(静止時振戦)
- 身体の動きが少なくなる(無動・寡動)
- 腕や脚などの筋肉がこわばってくる(筋強剛)
- 症状が進行すると、転びやすくなる(姿勢反射障害)

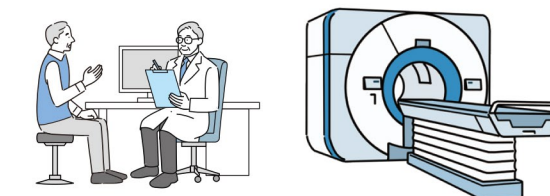


運動症状以外のよくある症状

- 起立性低血圧などの自律神経障害
- 便秘
- 嗅覚障害
- 不眠
- うつ
- 睡眠時の異常行動(レム睡眠行動異常)
- 認知機能障害
- などが生じることもあります。

パーキンソン病の診断と治療

診断の流れ



治療の流れ

パーキンソン病の治療の基本は薬物療法です。薬物療法では、不足しているドパミンを補充する薬やその他の補助薬などがあり、患者さんの症状の進行に合わせて薬の量や種類を調整します。症状によっては外科的治療が可能な場合もあります。また、患者さんの病状にあわせて、介護保険を利用したりハビリテーションや福祉用具の使用をしていくため、社会福祉士やケアマネジャーと連携して患者さんの生活を支援していきます。パーキンソン病は、早期発見・早期治療で、大きな支障なく生活できる期間を保つことができる可能性があります。症状が気になる方は医療機関を受診しましょう。

病院基本情報

海南病院

病 床 数/540床
場 所/愛知県弥富市前ヶ須町南本田396番地
電 話 番 号/0567-65-2511(代表)

診 療 科/全31科

受付時間/

- 紹介状をお持ちの方
- 予約のある方 8:00～⇒紹介予約受付へ
- 予約のない方 8:00～11:00 ⇒中央受付へ
- 紹介状をお持ちでない方
- 予約のある方 8:00～17:00 ⇒再来受付機へ
- 救急外来受診後、診察指示がある方 8:30～11:00 ⇒中央受付へ
- ※当日予約のない方は、中央受付でご相談ください。

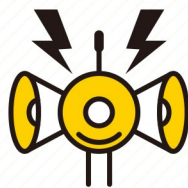


健康ひろば!

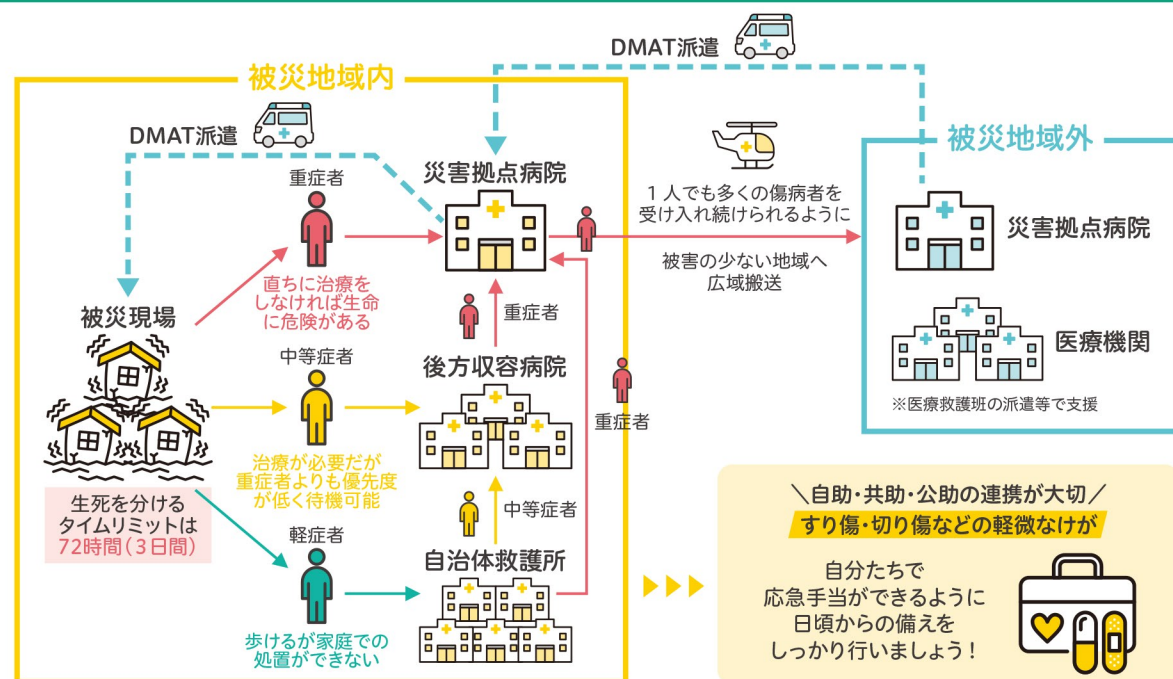
9月1日は防災の日

大規模災害時の医療のながれ

9月1日は防災の日です。愛知県では30年以内に70%程度以上の確率でマグニチュード8～9クラスの南海トラフ大地震が起これと言われています。大規模災害が起これ、医療機関に多くの傷病者が集中し、混乱する可能性があります。限られた医療資源の中で、混乱なく受診するために災害時の医療のながれを知っておきましょう。



災害時の医療のながれ



災害時に想定される医療のリスク

- 情報通信手段が途絶え、救助をすぐに呼ぶことができない
- たくさん傷病者が発生したり、倒れた建物で道路が塞がれる場合もあり救助の到着が遅くなる
- 医療機関に患者が殺到し、すべての傷病者への同時処置が困難になる

南海トラフ地震等の大規模広域災害が発生した場合は、救助対象が広域の範囲で多数発生することが想定されているため、公的支援がすぐに現場へ向かうことができない旨が警鐘されています。

用語解説

災害拠点病院

地震・津波・台風・噴火等の災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院のこと。

地域中核災害拠点病院: 安城更生・江南厚生・海南・豊田厚生病院
地域災害拠点病院: 稲沢厚生・知多厚生病院



DMAT(災害派遣医療チーム)

広域大規模自然災害の発災時には直ちに被災地災害拠点病院へ駆けつけ、同病院の指揮下のもと発災48時間以内の急性期災害医療を行う医療チームのこと。

DMAT指定医療機関: 安城更生・江南厚生・海南・豊田厚生・稲沢厚生・知多厚生病院



Our Professionals

頼れる安心、頼られる誇り。
地域医療を守る
プロフェッショナルたち。

職場紹介

江南厚生病院

栄養管理室



美味しく・安全な食を通して 患者さんの生きるを支える

栄養管理室は、管理栄養士・調理師・調理員など総勢57名のスタッフが4交代制で勤務しています。臨床調理係は、入院患者さんに美味しく安心して召し上がって頂けるような食事の提供に努めています。臨床栄養係は、病態別の栄養指導や各種栄養教室の実施、入院患者さんの栄養管理計画書作成などを行い、疾病の予防や改善をサポートする役割を担っています。



患者さんアンケートから考案した 江南厚生病院独自のメニュー

小児発熱食



小児科医と考案しました。発熱時でも食べやすいように量も少なめにしています。

化学療法食



抗がん剤治療中は食欲が低下するため、半量で食べやすいものを提供しています。

主な業務

入院食を調理する臨床調理係

1食あたり約400人分の食事を作ります。入院患者さんごとの栄養量に合わせて調理・盛り付け・配膳までを担当します。食事制限がない「普通食」のほか、食事の形態を考慮した「分粥食・嚥下食」、食べられない患者さんに対しては「個別対応食・小児発熱食」の調理も行います。出産後にはお祝い膳など、患者さんに楽しんで頂けるように選択メニューも提供しています。

患者さんの栄養を管理する臨床栄養係

献立作成・食材発注・調乳・食数把握などの給食業務管理と入院患者さんの栄養管理や栄養指導を担当しています。治療の影響や様々な要因で食欲が低下している患者さんには、管理栄養士がベッドサイドに訪問し、摂食状況を確認して献立内容を調整します。特に栄養状態が悪い患者さんには多職種で構成したNST(栄養サポートチーム)と連携し、患者さんの栄養状態の改善に努めています。

HOT TOPICS

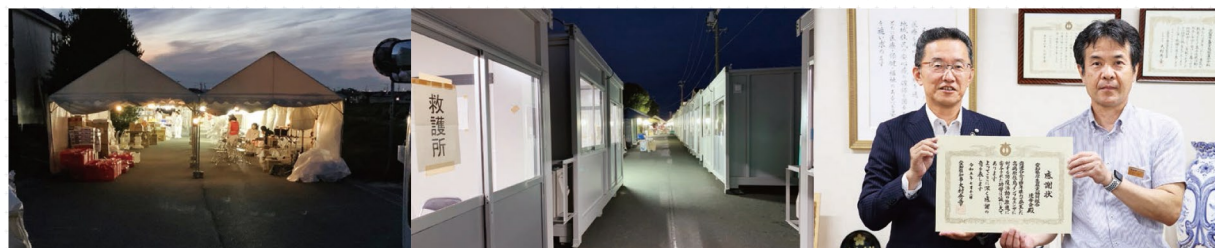
J A 愛知厚生連のホットな
取り組みをご紹介します。

J A 愛知
厚生連

7月13日

鳥インフルエンザ防疫措置救護班に対する感謝状をいただきました。

7月13日、豊橋市の養鶏場で2022年12月に発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫作業に協力したとして、愛知県農業水産局より感謝状をいただきました。本会は12月7日から12日の期間で看護師・事務員計8名を派遣し、救護活動を行いました。



▲作業は昼夜を問わず行われ、救護班として切創や体調不良者の救護にあたりました

7月26日

離島の医療環境向上へ。 電子カルテ導入に向けた操作訓練を行いました。

知多厚生病院 篠島診療所では、8月1日よりクラウド型の電子カルテ運用を開始しました。7月26日は篠島診療所にて診療所長の保里医師や看護師・事務員らの操作訓練を行いました。電子カルテ化によって薬の処方や会計時の患者待ち時間が短縮されます。また、島民が知多厚生病院を受診する際、患者情報が閲覧できるため救急搬送時の情報収集もスムーズとなります。



▲診療所スタッフの操作訓練の様子

海南病院

7月12日

新生児受け入れホットラインを開設しました。

海南病院は、海部医療圏で唯一の周産期母子医療センターとしてハイリスクの新生児をNICU（新生児集中治療管理室）で受け入れています。7月12日より新生児受け入れホットラインの運用を開始し、小児科医が24時間365日に対応しています。新しい運用では紹介元の医療機関が海南病院の専用ダイヤルにかけると、海南病院の小児科当番医に直接つながり救急車を手配します。これにより、紹介元の医療機関の利便性向上と患児の治療開始までの時間の短縮が期待されます。



知多厚生
病院

8月1日・3日

中学生の職場体験を受け入れました。

8月1日・3日の2日間にかけて職場体験を実施し、南知多中学校より2名の生徒を受け入れました。病院で働く職種の中から薬剤部を始め、診療放射線室、臨床検査室、リハビリテーション室、栄養管理室、看護部を体験し、働くことの大切さや喜びを知ってもらいました。この体験を通じて、将来子どもたちが医療職を志すきっかけとなることを願っています。



▲薬剤師体験の様子



▲注射剤の調製を体験しました！



▲助産師体験の様子

渥美病院

8月5日

4年ぶり！小学生向け「院内探検ツアー」を開催しました。

8月5日に病院を身近に感じてもらうことと地域の方々と交流することを目的とした「院内探検ツアー」を開催しました。当日は田原市内の15組の親子が参加し、院内を見学しながら手術の模擬体験や電気メス体験・薬剤師体験などを実施しました。院内探検ツアーは2011年より毎年開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの開催となりました。本イベントを通して渥美病院を身近に感じていただくとともに、病院の仕事に興味をもっていただき将来医療業界へ就職したいと思ってくれるお子さんが一人でも多くなることを願っています。



▲手術の模擬体験(担当:手術室看護師)



▲顕微鏡体験(担当:臨床検査技師)



▲MRIの磁力体験(担当:診療放射線技師)



▲薬の飲み方チェック(担当:薬剤師)



▲電気メス体験(担当:臨床工学技士)



▲内視鏡体験(担当:臨床工学技士)

J A 愛知
厚生連

7月25日

「J A 愛知厚生連REPORT2023-事業要覧-」を発行しました。

「J A 愛知厚生連REPORT2023-事業要覧-」を発行しました。この冊子では、本会の事業をわかりやすく紹介しております。ぜひご覧ください。



INFORMATION

1



安城更生病院



江南厚生病院



海南病院



豊田厚生病院

8月1日より紹介受診重点医療機関に指定されました。

紹介受診重点医療機関とは、かかりつけ医からの紹介状を持って受診いただくことに重点を置き、手術・処置や化学療法等を必要とする外来や、放射線治療等の高額医療機器等を必要とする外来を行う医療機関のことです。従来の地域医療支援病院の役割と大きな変更はありません。選定療養費の詳細は、各病院のホームページをご覧ください。

厚生労働省紹介受診重点医療機関啓発ポスター▶



2



JA愛知厚生連

本会会長 長谷川浩敏がJA全厚連の会長に就任しました。

7月25日に東京都内で開かれたJA全厚連の理事会において、本会の経営管理委員会会長 長谷川浩敏がJA全厚連の代表理事会長に就任しました。



長谷川浩敏会長▶

公開講座

9月

一般の方を対象とした、医療や福祉に関する情報です。皆さんお気軽にご参加ください。お申し込み方法については、各事業所にお問い合わせください。

開催日/時間	テーマ	場所/講師	備考
① 9月5日(火) 10:00~11:00	がんサロン「にじの会」 診断期からの緩和ケア	江南厚生病院外来2階多目的室 緩和ケア内科部長	要予約、無料 ※プチ講座は期間限定で 当院Webサイトにて オンライン配信します。
② 9月5日(火) 11:00~12:00	脳いきいき倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	要予約、 参加費300円
③ 9月14日(木) 11:00~12:00	ロコモ予防体操倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	要予約、 参加費300円
④ 9月19日(火) 11:00~12:00	脳いきいき倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	要予約、 参加費300円
⑤ 9月28日(木) 11:00~12:00	ロコモ予防体操倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	要予約、 参加費300円

お問い合わせ

- ① 江南厚生病院
②~⑤ 足助病院

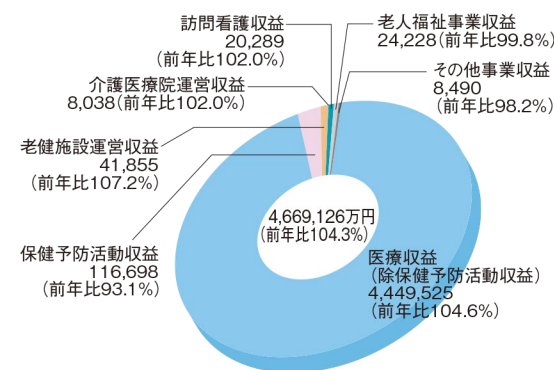
TEL.0587-51-3333(代表)
TEL.0565-62-1211(代表)

一般の方も
ご参加いただけます

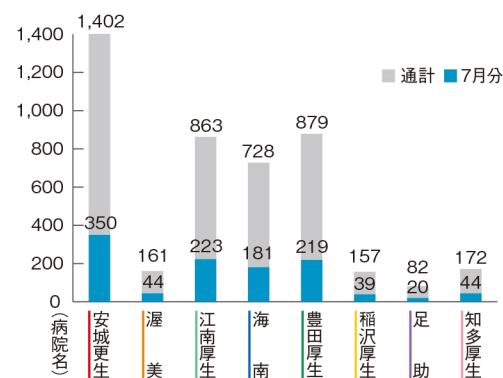
※公開講座は新型コロナウイルスの感染状況により中止の場合があります。また実施する講座は感染予防に取り組みながら実施します。

事業実績

■事業実績(7月末)
(単位:万円)



■病院別診療収入
(単位:千万円)



■病院別患者数(単位:人)

病院名(ベッド数)	区分	患者数	
		7月	通計
安城更生(771)	外来	39,661	157,283
	入院	21,345	83,634
渥美(316)	外来	11,262	44,547
	入院	7,144	25,802
江南厚生(684)	外来	29,361	114,876
	入院	18,313	68,290
海南(540)	外来	26,349	103,786
	入院	15,578	61,640
豊田厚生(606)	外来	26,861	108,631
	入院	17,425	66,560
稲沢厚生(250)	外来	12,002	47,250
	入院	5,535	22,663
足助(148)	外来	5,155	20,697
	入院	3,902	15,484
知多厚生(199)	外来	12,124	48,218
	入院	5,288	20,721
JAあいち健診センター	外来	30	124
合計(3,514)	外来	162,805	645,412
	入院	94,530	364,794



お知らせ

●江南厚生病院 ピンクリボンDAY

10/4(水) 10:00~15:00

乳がんイベントを開催します。

参加費無料・事前申し込みは不要です。

※キャンサーケアヨガのみ人数制限あり

詳細はコチラ



●愛北看護専門学校 学校見学説明会

10/7(土) 10:00~12:00 (受付9:30~)

定員80名

参加費無料・事前申し込みが必要です。

※申込締切:10/3(火) 17:00まで

詳細はコチラ



●海南病院 健康大学 \再開します/

10/11(水) 14:00~15:00

テーマ:地域をまもり、共に歩む~Together With~

講師:病院長 奥村明彦

参加費無料・事前申し込みは不要です。

詳細はコチラ



●足助病院 病院祭

10/15(日) 9:30~15:30

日曜日に乳がん検診を受けられるイベント同日開催!

参加費無料・事前申し込みは不要です。

乳がん検診は、事前予約が必要です。

詳細はコチラ



今月の巡回健診予定表

JAあいち健診センターの健診車が各JAを巡回し、JA組合員の健診を行っています。ご希望の方は各JA窓口にご相談ください。

9/1(金)	9/11(月)	9/20(水)
JAあいち海部 南部営農センター	JAあいち知多 東海支店	JA海部東 甚目寺支店
	JAなごや 本店	JA西春日井 西春支店
	JA愛知東 長篠支店	JA豊橋 本店
	JA愛知北 大口支店	
9/4(月)	9/12(火)	9/22(金)
JA愛知北 大口支店	JAあいち知多 大府支店	JAあいち海部 南部営農センター
	JA愛知北 犬山南部支店	
9/5(火)	9/13(水)	9/25(月)
JA愛知北 大口支店	JAあいち知多 武豊営農相談センター(旧武豊営農センター)	JA尾張中央 味岡支店
	JA豊橋 磯辺支店	
9/6(水)	9/14(木)	9/26(火)
JAあいち知多 武豊営農相談センター(旧武豊営農センター)	JA西春日井 新川支店	JA西春日井 本店
JA豊橋 吉田支店	JA豊橋 高豊支店	
9/7(木)	9/15(金)	9/29(金)
JAなごや 大高支店	JAあいち知多 東浦支店	JA尾張中央 春日井支店
JA豊橋 大村支店		JAみどり(緑信用) 桶狭間支店
9/8(金)	9/19(火)	
JA西春日井 師勝支店	JAみどり(緑信用) 徳重支店	
JA豊橋 第3事業所		



その背中には語る。
病気を診るだけでなく、
その人の暮らしを
診るのだと。

その背中には語る。
一人ひとり違うから、
チームになれるのだと。

その背中には語る。



つながりが、
人を助ける可能性に
つながるのだと。

その背中には語る。
高い壁を
越えてゆくために、
技術と志を
高く持とうと。

その背中には語る。
寄り添うために、
揺るがない強さを
持とうと。



その背中が、
私の背中を押してくれる。

生きる、を背負う使命。

このまちで、ともに、守り抜く。

安城更生病院 渥美病院 江南厚生病院 海南病院
豊田厚生病院 稲沢厚生病院 足助病院 知多厚生病院

 JA 愛知厚生連

TVer・テレビ愛知にて
CM放映中

